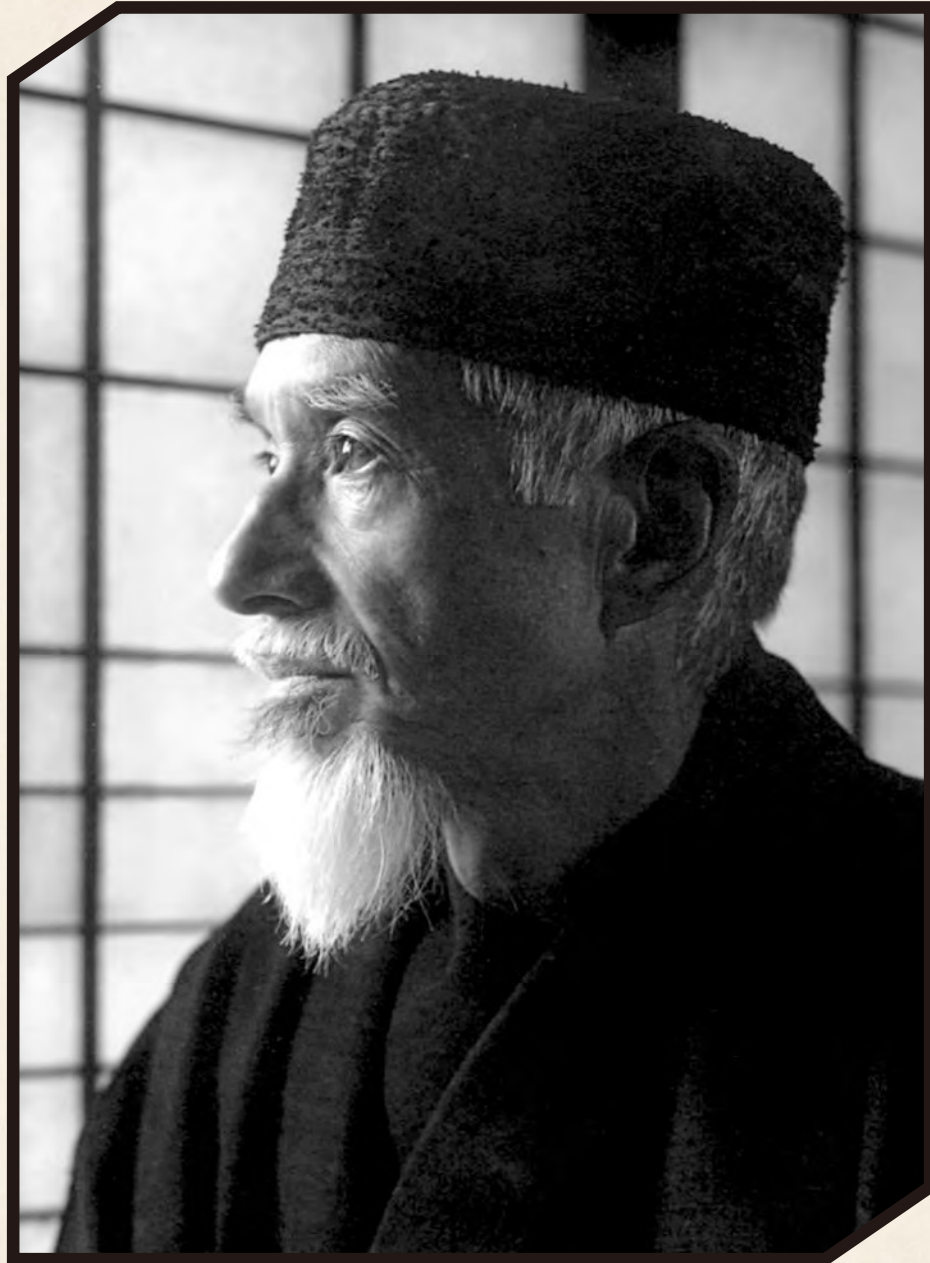




中勤助生誕130年 没後50年  
中勤助文学記念館  
開館20周年記念事業



中勤助像 撮影：柿沼和夫

縁 えにし

の

作

家

、

中

勤

助

展

静

岡

の

人

々

と

共

に

2016.2.3 水 - 2.18 木

休館日：2.15 月 開館時間：10:00 - 18:00 (入場は閉館の30分前まで)

問合せ：(公財)静岡市文化振興財団 Tel 054-255-4746

観覧料：無料

会場：静岡市民ギャラリー 第4展示室  
(静岡市役所 静岡庁舎 本館1F)



主催：静岡市  
企画・制作：(公財)静岡市文化振興財団  
協力：静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団  
監修：木内英実(東京都市大学准教授)

Naka Kansuke

# 縁の作家、中勤助展

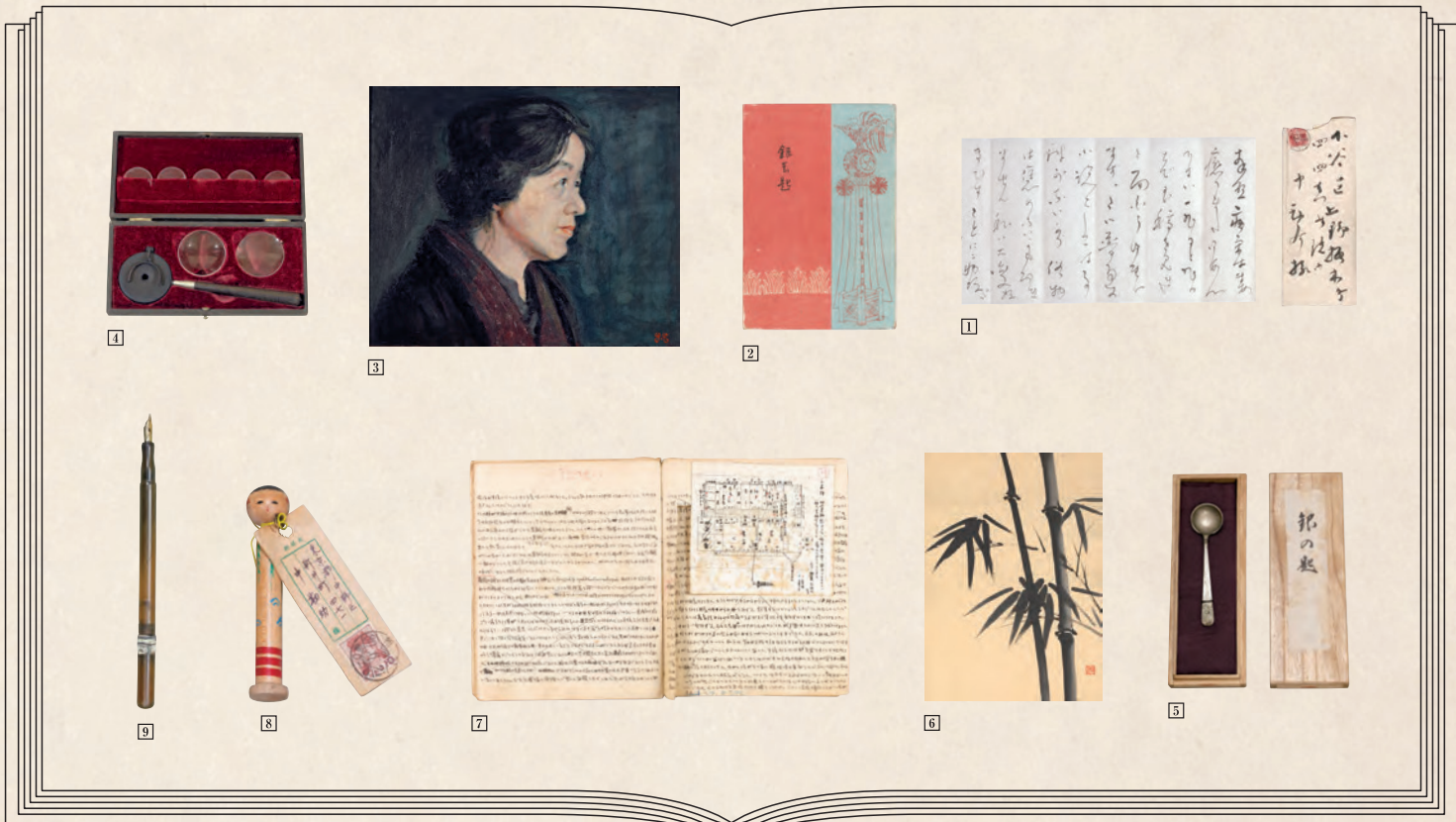
## 静岡の人々と共に

中勤助「なかかんすけ」(明治十八年〜昭和四十年)は、文豪・夏目漱石の推薦で「東京朝日新聞」に連載した自伝的小説『銀の匙』(さし)、『前篇大正二年・後篇同四年』で知られる近代日本を代表する文学者です。静岡との縁は、中勤助・和夫妻が、第二次世界大戦の終戦前後の昭和十八年十月〜二十三年四月、静岡市郊外の安倍郡服織村「はとりむら」(現・静岡市葵区新聞)に移住したことに始まりです。

来静岡前、東京で兄嫁・親友の娘・兄と立て続けに心の支えを亡くした中勤助は、創作意欲が湧かない時期がありましたが、静岡移住後は『鳥の物語』に収録された珠玉の童話『白鳥の話』のほか、服織の人々との交流をもとにした随筆、その自然を詠んだ詩歌も数多く発表するなど、中勤助文学は再生に向かったと言っても過言ではありません。

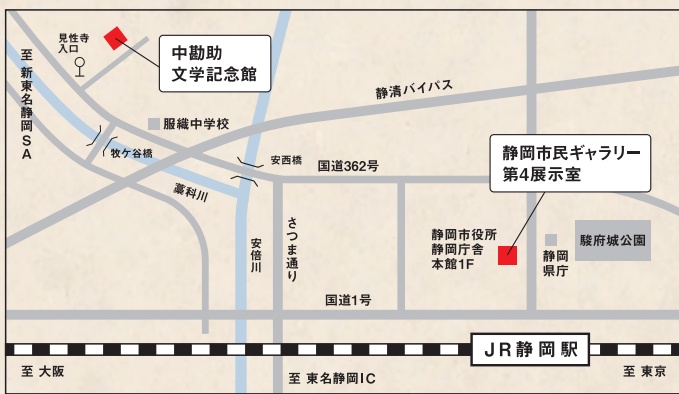
中勤助生誕百十年にあたる平成七年に、夫妻の住居を整備復元して、中勤助文学記念館が開館し、遺族より草稿や蔵書などの遺品約三千五百点が静岡市に寄贈されました。また、中勤助を物心両面から支え、岩波版『中勤助全集』の編纂委員も務めた静岡の実業家・稲森道三郎氏(大正十二年〜平成二十一年)の遺族より、平成二十二年、同氏所蔵の中勤助関連資料が寄贈されました。これらの資料により、中勤助の様々な側面が明らかになりつつあります。

本年度は、中勤助生誕百三十年、没後五十年、そして中勤助文学記念館開館二十周年にあたりです。本展では、第一章「代表作『銀の匙』を中心とした中勤助の生涯」と題し、作品の由来となった『銀の匙』、『銀の匙』賞賛の漱石からの書簡、『銀の匙』本文変更を示す書入れ本、心の拠り所であった兄嫁末子「すえこ」の遺品等を紹介し、第二章「鳥の物語」―静岡の人々と共に―では、遺族より寄贈された草稿や校正原稿、晩年の愛用品、稲森氏の収集品等を初公開します。この機会に中勤助文学記念館探訪と併せてお楽しみください。



1 夏目漱石筆、中勤助宛書簡[大正3年10月27日付](['銀の匙』を賞賛する内容) 2 ★中勤助著『銀の匙』[大正15年岩波書店](初版) 3 小堀四郎画「中末子像」油彩・キャンバス(写真をもとに描かれた兄嫁) 4 中金一愛用 検眼鏡(「遺品」に登場する医者だった兄の持物) 5 中勤助愛用 銀の匙(小説『銀の匙』の由来となった品) 6 ★中勤助画「墨竹図」紙本墨画 7 中勤助創作ノート「粟穂」(「遺品」[高原]昭和21年8月号のもととなったノート) 8 加藤喜美子筆、中勤助宛書簡入こけし[昭和30年6月21日消印] 9 中勤助愛用 英国トーマス・デ・ラ・ルー社製ONOTO万年筆(大正10年11月、和辻照子より贈られた) 10~19 すべて静岡市所蔵、★印は稲森道三郎氏旧蔵

◎ラジオ番組、76.9FM-Hi!「Reading Lounge〜朗読の世界〜」で中勤助の小説『銀の匙』や詩歌をお届けします。(1月8日〜2月26日の毎週金・土曜19:30〜)。詳細は [76.9FM.Hi!](http://76.9FM.Hi!) ホームページをご覧ください。



会場：静岡市民ギャラリー 第4展示室(静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所静岡庁舎本館1F)  
 開館時間：10:00〜18:00 休館日：2月15日(月)  
 ◇静岡市民ギャラリー(Tel:054-221-1017)へのアクセス  
 電車：JR静岡駅より徒歩10分、静岡鉄道新静岡駅より徒歩5分  
 バス：しずてつジャストライン「県庁・静岡市役所葵区役所」下車  
 ＊公共交通機関をご利用ください。  
 ＊専用駐車場はございません。  
 ＊お車でお越しの際は近隣の駐車場をご利用ください。  
 ◇中勤助文学記念館(Tel:054-277-2970)へのアクセス  
 住所：静岡市葵区新聞1089-120 ＊駐車場7台あり  
 バス：しずてつジャストライン薬科線  
 「新静岡」2番のりば、または「静岡駅前」3番のりばより、  
 「見性寺入口」下車、徒歩2分  
 車：新東名静岡SAスマートICから約10分  
 東名静岡ICから国道362号(薬科街道)千頭方面へ約25分



中勤助筆「風のごとし」草稿より描印(鳥のマークを落款の代わりに描いたもの)